



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 株式会社 朝日工業社

上場取引所 東

コード番号 1975 URL <https://www.asahikogyosha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高須 康有

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長副社長執行役員総務本部長 (氏名) 亀田 道也

TEL 03-6452-8181

四半期報告書提出予定日 2023年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	53,830	16.9	1,333	44.5	1,748	44.5	1,151	64.5
2022年3月期第3四半期	46,055	2.3	923	10.9	1,209	3.4	699	28.4

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 1,128百万円 (158.0%) 2022年3月期第3四半期 437百万円 (84.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	89.68	
2022年3月期第3四半期	54.60	

(注)2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	69,289	34,754	50.2	2,704.70
2022年3月期	72,081	34,360	47.7	2,678.31

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 34,754百万円 2022年3月期 34,360百万円

(注)2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		50.00		70.00	120.00
2023年3月期		25.00			
2023年3月期(予想)				42.50	67.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2023年3月期期末配当予想について、17円50銭増配しております。詳細につきましては、本日(2月9日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

(注)1. 配当金の内訳

2022年3月期第2四半期末 普通配当 50円00銭 2022年3月期期末 普通配当 50円00銭 特別配当 20円00銭
2023年3月期第2四半期末 普通配当 25円00銭 2023年3月期期末(予想) 普通配当 25円00銭 特別配当 17円50銭

2. 2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2023年 3月期の連結業績予想(2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,600	15.7	2,600	13.6	2,800	7.9	2,000	7.5	155.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	13,600,000 株	2022年3月期	13,600,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	750,174 株	2022年3月期	770,822 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	12,841,479 株	2022年3月期3Q	12,817,534 株

(注)2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	8
(1) 連結受注高	8
(2) 個別受注高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による各種規制が緩和されたことに伴い、経済活動は正常化に向かい、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方で、世界的な半導体不足やウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格の高騰に急激な円安の進行、物価上昇、サプライチェーンでの制約、金融資本市場の変動等が重なるなど先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業環境は、設備工事業につきましても、建設投資は底堅く推移しておりますが、受注競争の激化や資機材価格の高騰などが懸念される厳しい状況が続きました。精密環境制御機器の製造販売事業につきましては、FPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置向け製品、半導体製造装置向け製品ともに、電子部品等の不足による生産計画の調整に中国における感染拡大による影響が続きました。

こうした経営環境の下で、当社グループは業績の向上に総力を上げて取り組んでまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は53,830百万円（前年同期比16.9%増加）、営業利益は1,333百万円、経常利益は1,748百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,151百万円となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

〈設備工事業〉

売上高 50,187百万円 （ 20.2% ）

営業利益 1,202百万円 （ 102.1% ）

受注高は63,761百万円で前年同期比34.4%の増加となりました。

売上高は、前年同期比20.2%の増加となり、営業利益は売上高の増加により前年同期595百万円から増加し1,202百万円となりました。

〈機器製造販売事業〉

売上高 3,643百万円 （ △15.6% ）

営業利益 131百万円 （ △60.0% ）

受注高は3,812百万円で前年同期比21.9%の減少となりました。

売上高は、前年同期比15.6%の減少となり、営業利益は売上高の減少及び売上総利益率の低下により前年同期328百万円から減少し131百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が69,289百万円（前年度末比2,791百万円減少）となりました。主な増加は、受取手形・完成工事未収入金等1,661百万円、電子記録債権1,868百万円及び未成工事支出金823百万円であり、主な減少は、現金預金9,801百万円です。

負債総額は34,534百万円（前年度末比3,185百万円減少）となりました。主な増加は、電子記録債務4,829百万円であり、主な減少は、支払手形・工事未払金等5,997百万円及び短期借入金1,220百万円です。

純資産は34,754百万円（前年度末比394百万円増加）となりました。主な増加は、利益剰余金381百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日に発表いたしました2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は国内外の景気動向に加え、新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲等様々な要因により大きく変動する可能性があり、業績に影響を及ぼす影響が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	19,513	9,711
受取手形・完成工事未収入金等	24,606	26,267
電子記録債権	5,029	6,897
製品	0	0
未成工事支出金	873	1,697
仕掛品	635	840
材料貯蔵品	145	229
その他	1,335	3,041
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	52,136	48,685
固定資産		
有形固定資産	5,383	6,352
無形固定資産	1,031	834
投資その他の資産		
投資有価証券	12,290	12,098
その他	1,251	1,327
貸倒引当金	△12	△9
投資その他の資産合計	13,529	13,416
固定資産合計	19,944	20,604
資産合計	72,081	69,289
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	17,058	11,060
電子記録債務	10,051	14,881
短期借入金	3,800	2,580
未払法人税等	956	44
未成工事受入金	1,936	1,713
完成工事補償引当金	63	93
工事損失引当金	381	325
その他	1,328	1,429
流動負債合計	35,576	32,128
固定負債		
退職給付に係る負債	978	939
その他	1,165	1,466
固定負債合計	2,143	2,406
負債合計	37,720	34,534

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,857	3,857
資本剰余金	3,760	3,777
利益剰余金	23,120	23,501
自己株式	△691	△672
株主資本合計	30,046	30,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,652	4,527
為替換算調整勘定	170	218
退職給付に係る調整累計額	△509	△453
その他の包括利益累計額合計	4,314	4,291
純資産合計	34,360	34,754
負債純資産合計	72,081	69,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	46,055	53,830
売上原価	40,691	48,115
売上総利益	5,364	5,715
販売費及び一般管理費	4,441	4,381
営業利益	923	1,333
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	254	268
受取保険金	—	134
その他	72	69
営業外収益合計	327	474
営業外費用		
支払利息	24	22
為替差損	1	—
コミットメントフィー	10	34
その他	4	3
営業外費用合計	41	59
経常利益	1,209	1,748
特別利益		
事業譲渡益	—	70
特別利益合計	—	70
特別損失		
固定資産処分損	0	3
投資有価証券評価損	0	15
減損損失	91	12
特別損失合計	92	30
税金等調整前四半期純利益	1,117	1,787
法人税、住民税及び事業税	94	249
法人税等調整額	323	387
法人税等合計	417	636
四半期純利益	699	1,151
親会社株主に帰属する四半期純利益	699	1,151

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	699	1,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△340	△125
為替換算調整勘定	44	47
退職給付に係る調整額	33	55
その他の包括利益合計	△262	△22
四半期包括利益	437	1,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	437	1,128
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りについて)

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症は2023年3月期以降も継続すると仮定しております。事業活動への影響も想定されますが、業績への影響は軽微であると仮定して、固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

なお、現在入手可能な情報に基づいて会計上の見積りを行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響について不確定要素が多いため、その状況によっては、今後の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

1 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	設備工事業	機器製造 販売事業	合計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	41,737	4,317	46,055	—	46,055
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	41,737	4,317	46,055	—	46,055
セグメント利益 (注)	595	328	923	—	923

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	設備工事業	機器製造 販売事業	合計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	50,187	3,643	53,830	—	53,830
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	—	33	△33	—
計	50,221	3,643	53,864	△33	53,830
セグメント利益 (注)	1,202	131	1,333	—	1,333

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 補足情報

(1) 連結受注高

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		増 減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
設 備 工 事 事 業	47,438	90.7	63,761	94.4	16,322	34.4
機 器 製 造 販 売 事 業	4,878	9.3	3,812	5.6	△1,066	△21.9
合 計	52,317	100.0	67,573	100.0	15,256	29.2

(2) 個別受注高

区 分	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		増 減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
設 備 工 事 事 業	45,983	90.4	62,398	94.2	16,414	35.7
機 器 製 造 販 売 事 業	4,878	9.6	3,812	5.8	△1,066	△21.9
合 計	50,862	100.0	66,210	100.0	15,348	30.2